

第3回岡崎市商工振興計画推進委員会 会議録

日 時

令和2年11月25日（火）10:00～12:00

場 所

岡崎市役所西庁舎 701 会議室

出席委員及び欠席委員

（出席委員）

愛知産業大学 教授	丸山 宏	会長
よつば労務管理事務所 所長	永谷 律子	委員
岡崎商工会議所 副会頭	岩月 幹雄	委員
岡崎市六ツ美商工会 会長	宮本 一彦	委員
岡崎市ぬかた商工会 会長	浅岡 謙治	委員
愛知県労働者福祉協議会 岡崎額田支部 事務局長	平野 敏雄	委員
日本政策金融公庫 岡崎支店長	硯見 仁	委員
公募委員	近藤 忠彦	委員
公募委員	丸山 泰裕	委員

（欠席委員）

株式会社まちづくり岡崎 代表取締役	松井 洋一郎	委員
-------------------	--------	----

（事務局）

岡崎市商工労政課長 加藤 健一郎
商工労政課副課長 勝上 典
商工労政課労政金融係長 宮崎 千尋
商工労政課ものづくり支援係長 滝川 正善
商工労政課にぎわい創生係長 山之内 学
商工労政課主事 中川 光

（傍聴者）

なし

次第

1 岡崎市産業労働計画（素案）について

2 その他

《会議要旨》

《議題》

事務局より、岡崎市産業労働計画（素案）について説明。

【各委員の主な意見】

- ものづくり企業は、IoT、AI、ロボット、DX といったキーワードは知っているが、導入の旗振り役を担える人材が不足している。そういった人材の育成を新センターには期待したい。
- 商工会が事業者と行政を繋ぐパイプ役を一層担えると良い。
- 工業用地の開発にあたり、山間部は地権者が多いため、行政が仲介役になってもらうとありがたい。
- トヨタ自動車のテストコースが旧下山村地区に整備されるので、関連企業を含めて地域の人口増に繋がるような環境整備を期待したい。
- 新しい働き方として、休日に額田でお店を出すなど、兼業、副業をまちなかだけでなく、額田などの郊外でも進められるよう、支援が求められる。
- これまでにない事業を創出するような起業家、アントレプレナーを育成するための教育が必要となる。
- 製造業に加えて、製造業周辺産業の牽引する大企業を誘致し、産業の裾野を広げていくことが求められる。
- 目標値の設定根拠を示して欲しい。設定根拠があれば、どの程度進捗したか、どこを重点的に進めるべきかが分かるのではないか。
- SDG s に関する具体的な施策が取り上げられていない。
- 市内にある複数の産業支援機関を岡崎市が取りまとめ、それぞれの支援策を総合相談窓口でパッケージ化して示すことができると良い。市内の創業希望者は多いが、事業計画がブラッシュアップされていないため、そのための支援機能や、創業と事業承継を繋ぐ支援機能なども総合相談窓口にあると良い。
- セミナー、講演会など、必要な事業者の目に届くよう、情報発信が重要である。
- 中小企業において、兼業、副業、テレワークなど、柔軟な働き方が求められるが、十分浸透していないため、周知を図る継続的な啓発活動が求められる。

以上